

平成30年8月2日  
東部農林振興センター松江農業普及部安来支所

標題 安来の梨の出荷が始まりました！

(ダイジェスト)

8月1日、安来市下坂田町の梨選果場で開場式が行われ、梨の選果が始まりました。7月上旬には大雨、それ以降は干ばつと猛暑に悩まされ、管理が難しい年でしたが、生産者の努力により、やや小玉ながらも糖度の高い梨に仕上がっています。

今年産の安来の梨は、4月初めに例年より約10日早い開花期を迎えました。当地では「開花・交配が早い年は作柄が良くない」という言い伝えがありますが、これを裏付けるかのように、7月上旬には大雨に見舞われ、それ以降は干ばつ・猛暑と、梨の成熟を迎える時期に両極端で管理が難しい天候条件となりました。

しかしながら、日照時間に恵まれたことと、生産者の不断の努力もあり、8月1日の梨選果場開場式では、やすぎ梨生産部会の金山浩美部会長が「小玉にはなったが糖度は高い」と胸を張る梨に仕上がりました。

続いてJAしまねやすぎ地区本部の根来副本部長からあいさつがあり、「消費者が待ち望む美味しい梨を届けていく」と、販売に対する力強い決意が述べられました。

この日の初選果では、10kg箱で246ケースの選果が行われました。これを皮切りに9月中旬まで選果が続き、今年度は幸水5t、二十世紀60t、販売金額2,500万円を見込んでいます。

